

2023 年度前期授業アンケート実施概要

1. アンケート実施の概要

1-1. 実施趣旨と従来からの変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が個別に、またはオムニバス科目の担当教員が相互に課題を共有し、授業改善を行うためのデータを得る。
- (2)学部学科としてカリキュラムを改善するとともに、大学として組織的な教育改善に取り組むためのデータを得る。あわせて、教育力の向上を点検するためのデータを得る。
- (3)授業に対する自身の取り組み方について学生の振り返りを促すとともに、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るためのデータを得る。

【2021 年度からの変更点】

- (1)2022 年度においては、前期・後期ともに中間授業アンケートを実施した。一方で全学的な集計については期末授業アンケートのみを対象とした。
- (2)中間授業アンケートについては、8 問から 6 問へ、期末授業アンケートについては、16 問から 9 問に設問数を整理した。また、中間授業アンケートと項目をそろえ、かつ例年の項目間の相関分析の結果、「強い相関」がみられるものにまとめた。

1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は 2023 年度前期に実施される全授業科目（通年科目として設定されている科目については対象外）を対象とした。

1-3. 調査期間

2023 年 5 月 22 日（月）～2023 年 8 月 9 日（水）

1-4. 調査設計

2023 年度前期授業アンケートは、学生の授業理解度を測ることを目的とし、過年度の中間および期末の授業アンケート項目を踏まえつつ、第 1 にそれぞれのアンケート項目を減らすこと、第 2 に中間アンケートと期末アンケートの結果を対比できるようにすること、第 3 に次年度以降の科目実施形態を検討するための材料にできることの 3 点を考慮して、設問の設計を行った。

- (1)各授業の教育目標についての項目／全科目共通の 8 項目
- (2)授業についての自由記述／全科目共通の 1 項目

授業科目単位の集計結果および学生の自由記述は、教学向上を目的として、授業担当者（オムニバス等の科目については担当者全員）が閲覧できる方式とした。

2. 基本データ

2-1. 基本データ

時間割開講曜日・開講時限、科目名・クラス、担当者データを選択し、授業登録学生のみ回答できる設計とした。

2-2. 選択項目

選択項目については以下の通りの設問として実施した。

設問1 私は、この科目の内容をよく理解できた。

設問2 この科目の1回（1コマ）あたりの授業時間外学習（課題取組やグループ活動時間等を含む）の平均時間

設問3 この科目の授業方法は、理解を促したり考えさせたりするための工夫がなされている。

設問4 この科目の授業資料（板書・教科書・スライド・動画・その他配布資料等）は、自身の学びに役立った。

設問5 この科目の課題およびフィードバックは、自身の学びに役立った。

設問6 総合的に見て、この授業を受講してよかった。

設問7 この科目の今期の実施形態を選んでください。

設問8 次年度以降のこの科目の実施形態について、よりよく学べると思うものを選択してください。

設問1、設問3、設問4、設問5、設問6の選択肢について以下の通り。

（そう思う、どちらかと言えばそう思う、どちらでもない、あまりそう思わない、そう思わない）

設問2の選択肢については以下の通り。

（120分以上 90分以上120分未満 60分以上90分未満 30分以上60分未満 30分未満）

設問7、設問8の選択肢については以下の通り。

（対面 対面と遠隔のハイブリッド 遠隔）

2-3. 自由記述項目

選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の1つの質問を設定した。

設問9 教員へのメッセージがあれば書いてください。

（この授業の良かった点や、特に印象に残っている学び、次年度の受講生のためにこうした方が良いのではないかと提案などをお書きください）

2-4. 回答・集計方法

（回答）ポータルサイト上からの回答とし、授業登録者のみが該当授業の回答をするように制御した。

（集計）集計後、授業担当教員が担当科目のアンケート結果をポータルサイト上で閲覧できるようにした。

オムニバス科目等（複数担当者科目）については、該当教員全員がポータルサイト上で閲覧できるようにした。

2 - 5. 回答状況

対象者延べ数と回答者延べ数、回答率については下記のとおりである。

対象者延べ数 : 63,716 名

回答者延べ数 : 34,404 名

回答率 : 54.0%

以上